

令和5年12月定例会 一般質問通告要旨

順番 1

質問議員名	阿部 聡	
質問項目	質問要旨	要求答弁者
<p>1 鳥獣害対策のため専門課創設等の対策を</p>	<p>クマの出没・目撃情報が増えています。市農林水産課の統計によれば、新発田市では令和元年 55 件、2 年 233 件、3 年 23 件、4 年 93 件、今年は 11 月 12 日現在で 102 件に上っています。多い年と少ない年が 3～4 年程度の間隔で繰り返されつつ、増える傾向にあります。</p> <p>人身被害の推移は、環境省の統計の速報値によれば、全国で令和元年 137 件、2 年 141 件、3 年 71 件、4 年 68 件、今年は 10 月末現在で 159 件となっています(人身被害はツキノワグマによるもの、ヒグマは含まない)。当市でも今年には既に 2 件の人身被害がありました。</p> <p>市の担当係および担当各課では被害削減のための対応にあたっており、その献身的な努力に対して、心から感謝申し上げます。例えば猟友会への情報提供は当然として、安心メール配信、目撃地点周辺地区を中心にした徹底した注意喚起や複数回に渡るクマ注意喚起チラシの配布、新発田市市民公開地理情報システムから行ける「クマ出没・痕跡情報マップ」、これは市ホームページ上でクマの動きを把握できるため、ワンクリックで検索できないなど改善の余地はあるものの、市民の皆さんの危険回避や今後の対策立案に役立つものであります。</p> <p>さて、新発田市には「新発田市鳥獣被害防止計画」がありますが、現状とはそぐわなくなっている部分も多々あります。そこで、以下提案いたします。市長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>(1) クマ被害は餌の豊凶と関連する。豊凶サイクルから考えても、現行のざっくりとした計画でなく、毎年実施状況の検証が可能で緻密、中長期的な計画立案が必要と思われるがいかかか。</p> <p>(2) 中長期的な計画を実行に移すためには、例えば人事異動のない鳥獣害対策専門官を長期間にわたって任命、併せて鳥獣害対策課などの専門部署の設置が必要と思われるがいかかか。</p> <p>(3) 捕獲・防護・環境整備、三位一体の対策が必要で、特にクマなどの人身被害を防ぐためには、例えば狩猟やわな免許を持った専門家・実務家を助言者として迎えるべきではないかと考えるがいかかか。</p> <p>(4) 対策には資金が必要だ。例えば鳥獣被害防止総合対策交付</p>	<p>市長</p>

	<p>金など、国の資金を最大限利用できる対策とすべきと思うがいかがか。</p> <p>(5) 鳥獣害対策先進地は「特区」申請したり、「市街地対応マニュアル」を作成している。新発田市もその時期に来ていると思うがいかがか。</p>	
--	---	--